

えんそうする ちいき	京都府京都市	えんそうする お祭り	祇園祭
お祭りの とくちょう	<p><b>お祭りについて</b></p> <p>◇ 毎年7月1日～31日に、京都市にある八坂神社で行われるお祭りです。</p> <p>◇ やく 1,100 年前にでんせん病が流行したとき、早くおさまることをねがって行われた行事がはじまりといわれています。</p> <p><b>山ほこについて</b></p> <p>◇ 祇園祭では、だしのことを山ほこといいます。</p> <p>◇ 山ほこが町を回る行事を「山ほこじゅんこう」といいます。</p> <p>◇ げんざい 34 の山ほこがあり、そのうち 14 の山ほこで祇園囃子をえんそうします(令和6年3月現在)。</p> <p>◇ 山ほこには、人びとを病気にする神様を乗りうつらせ、町をきよめるやくわりがあるといわれています。</p>		
祭りばやしの とくちょう	<p><b>使われる楽器について</b></p> <p>◇ 使われる楽器は、かね、ふえ、たいこ(しめだいこ)です。</p> <p>◇ 山ほこじゅんこうのときには、かね6～9人ぐらい、ふえ6～9人ぐらい、たいこ2人でえんそうします。</p> <p>◇ ふえは、能楽*から生まれた「のうかん」というふえを使います。</p> <p>◇ かねは、10さい～20さいぐらいの、囃子の練習をはじめたばかりの人たちがえんそうします。</p> <p>* 能楽(能・狂言): 日本に古くからつたわるげいのうのひとつ。</p> <p><b>囃子のしゅるいについて</b></p> <p>◇ 祇園囃子をえんそうする山ほこには、それぞれ 30 ぐらいの曲がつたえられており、山ほこじゅんこうの順路によって「渡り囃子」と「戻り囃子」に分かれています。</p> <p>◇ 出発から八坂神社がある四条河原町までは、ゆっくりとした速度で、おごそかなふんいきをもつ「渡り囃子」をえんそうします。</p> <p>◇ 四条河原町からもどるときには、はやい速度で、はなやかなふんいきをもつ「戻り囃子」をえんそうします。</p> <p><b>その他</b></p> <p>◇ 祇園囃子は、山ほこじゅんこうのときだけでなく、お祭りの期間中に行われるさまざまな行事でもえんそうします。</p>		